



# 令和3年度 町政執行方針 教育行政執行方針

3月2日から開催された令和3年第1回当別町議会定例会で、新年度の町政執行方針および教育行政執行方針が宮司町長、本庄教育長からそれぞれ述べられました。執行方針の内容と新年度の予算概要をお知らせします。

## 令和3年度 町政執行方針

令和3年度は、町の発展に必要な定住人口増加に向けた極めて重要な年となります。令和2年度からスタートした「当別町まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期)」の各戦略プランに沿って事業を進めます。

### 産業力の強化～しごとの創生～

#### 企業誘致推進プロジェクト 商工業活性化プロジェクト

- ・令和2年度には木質バイオマス発電所の建設や、いちご観光農園の開園などで一定の成果。
- ・新年度は食品加工業者や再生可能エネルギー事業者などの企業誘致と、町内既存事業者の事業拡大に向けて、企業立地促進条例に基づく優遇制度活用を促進する。
- ・テレワークやワーケーションが可能な施設の誘致を模索する。

#### 農業10年ビジョン推進プロジェクト

- ・農業産出額100億円の目標達成に向けて進めているが、農業者数の減少に歯止めがかからない状況。
- ・農地の集積・集約と農地の交換分合を進め、ほ場の大区画化を進める。
- ・スマート農業や法人化推進で、競争力を強化。

#### 再生可能エネルギー利用プロジェクト 林業振興によるエネルギーの地域循環プロジェクト

- ・スマート林業による林業の省力化、一体型義務教育学校「とうべつ学園」への町産材利用や木質チップボイラの導入で、木材の地産地消を推進。
- ・脱炭素社会の実現を大きく前進させ、2050年までに町全体のエネルギー供給を再生可能エネルギーで賄える体制を目指す。

#### 道の駅プロジェクト

- ・コロナ禍において、テイクアウト商品の拡大、歴史兄弟都市の伊達市の野菜や活ホタテの販売など、新しい取り組みにチャレンジして売上改善。
- ・今後も、新たな商品開発やアイテムを充実し、集客ならびに売り上げ増を図る。

## 人を呼び込むまちの再生～魅力の創生～

### 新しいまちの顔づくりプロジェクト

- ・本年夏に新駅建設が開始、それに合わせて駅前広場の造成に着手。
- ・ロイズコンフェクトのテーマパーク、道の駅や太美市街地など、周辺地域の活性化や経済波及効果を産み出す新しいまちづくりの展開を目指す。
- ・5Gなど次世代通信技術をまちづくりに取り込みプロジェクトを推進。



### 駅周辺再開発プロジェクト

- ・「当別町立地適正化計画」に基づき、当別駅・太美駅周辺への都市機能集約に向け、商業施設・生活サービス施設の整備や民間事業者の誘致を推進。
- ・老朽化が進む役場庁舎の建て替えと合わせ、公共施設集約や複合化について、事業を本格化。
- ・公民連携を視野にディベロッパーなどの誘致。

### 移住促進プロジェクト

- ・オンライン環境の整備によりデジタル化を推進。
- ・おためし暮らし体験住宅のリモート環境を整え、テレワークやワーケーションの事業化を進める。

### 公共交通活性化プロジェクト

- ・「MaaS」導入の取り組みで、公共交通アプリ「とべナビ」を公開。
- ・アプリ内のバスの現在位置がリアルタイムでわかるバスロケーション機能で、バス待ち時間を短縮。
- ・バス車内の混雑状況がアプリ上で表示される機能も公開予定。

### 観光資源の活用・創出プロジェクト

- ・当別町の魅力的な観光資源を活かし、北海道観光振興機構や当別町観光協会などと連携して、多様化する観光ニーズに対応したプランを造成。

## 未来を担う子どもの育成～ひとの創生～

### 小中一貫教育推進プロジェクト

- ・放課後学習会や土曜学習会など地域の人材を活用した学習支援活動により、学力の向上で一定の成果。
- ・「とうべつ学園」の開校に向けて、教育課程編成や教育目標、コミュニティスクール、PTA等を準備。
- ・GIGAスクール構想による一人一台端末によるオンライン授業に向けて、デジタル教材の導入や教職員の指導技術向上を図る。



### 子育て世帯応援プロジェクト

- ・下川町の教職員住宅1棟を子育て世帯向け住宅に改修。新年度も2棟目の改修を行い、子育て世帯の住環境整備により、定住の促進を図る。
- ・緊急的な事情により家庭内で看ることが困難になった子どもを、一時的に施設などで預かるショートステイ事業を新たに実施。

## 住み続けたいまちの形成～まちの創生～

### 災害に強いまちづくりプロジェクト

- ・役場庁舎の建て替えは、防災拠点としての役割を担うものであり、早急を実現すべき喫緊の課題。
- ・庁舎建て替えの手法や、建設場所ならびに複合化の方向性など、具体的な作業を進める。
- ・除排雪サービスの充実、パンケチュウベシナイ川の河川改修、橋梁・道路改修により防災対策に注力。

### 地域・在宅医療確保対策プロジェクト 地域福祉推進プロジェクト

- ・訪問診療や看取りが行える機能の充実が必要のため、町の医療・介護の実態をさらに詳細に調査。
- ・新篠津村と共同で推進している「成年後見支援センター」をゆとり内に設置。

# 令和3年度 教育行政執行方針

平成29年から導入した一貫教育は開始から4年を迎え、学力向上や合同行事による交流、小学校から中学校へのスムーズな進学など、多くの成果が上がっています。学力については、全国学力・学習状況調査で全国平均以上、英語力も9年間の英語教育に取り組んだ結果、中学生が受験する英検IBA（英語力の測定）において、2年連続で高い成績を残しています。

「社会を背負う、世界にも通用する『知・徳・体』を備えた人」を育てるべく、今後も更なる取り組みを進めるため、3つの重点施策と、令和2年4月に作成した、当別町教育基本計画の「基本的方向性と施策」に基づき、教育行政を進めます。

## 3つの重点

### 学校をはじめとする教育施設での 徹底した感染予防

- ・マスク着用や手洗い、換気など三密回避の徹底。
- ・学校における新しい行動基準の弾力的運用。
- ・新たな教材を使った感染症の基本的知識の学習。

### コロナ禍における学びの充実と継続

- ・一人一台端末による授業改善やオンライン授業、オンラインによる生涯学習講座の研究と実践。
- ・児童生徒向けデジタル教科書の導入として、文部科学省の実証事業に参加。
- ・一人一台端末の活用方法やその他の利用技術向上に関する研修を行い教職員の資質向上を図る。

### 当別町の一貫教育の象徴である 「とうべつ学園」の開校準備

- ・教育課程編成として、小学校一部教科担任制、少人数や習熟度別学習、英語力向上、学びのハンドブック、とうべつ未来学、独自の学級基準を設定。
- ・9年間の成長に応じた多様な学習、コミュニケーションの場を持つ学校の建設
- ・教育目標、学校行事、校歌、校章、コミュニティスクールやPTA組織等の具体的な開校準備。

## 学校教育

### 基本方針

#### 一貫教育による確かな学力（知）、 豊かな心（徳）、健やかな体（体）の育成

- ・「確かな学力」のために、GIGA スクール構想の推進、学びのハンドブック作成、町独自の人的配置の継続（学力向上推進講師—算数・数学、英語、ALT、特別支援教育支援員等）。
- ・「豊かな心」と「健やかな体」のために、三課協働による心の育成事業、一校一実践、感染症に係る新たな教材を使った学習活動を展開。
- ・食育指導の充実と、給食センターの運営に関わる給食費の私会計から公会計への移行。

## 子ども未来

### 基本方針

#### 子どもの健やかな成長のための支援

- ・子育て環境充実のため、新たに「子育て短期支援事業」と認定こども園に対する「保育支援者配置事業」を実施。
- ・幼児教育と小学校教育の連携のため、幼保小接続プログラムや子どもプレイハウスの活動と委託に向けた業務を推進。
- ・不登校や児童虐待問題については、保護者や学校、関係機関との連携の中心となり未然防止に努める。

## 社会教育

### 基本方針

#### 全ての町民が幸せを実感できる 生涯学習社会の実現

- ・オンラインを活用した事業展開の研究と実践、町内外の教育機関や団体と連携した学習プログラム、歴史・文化プロジェクト、文化財保護と指定に関する業務、生涯学習施設の指定管理更新業務を推進。
- ・児童生徒の学力向上のため、ボランティアを活用した放課後学習会や土曜学習会、イングリッシュ・プロジェクトを実施。
- ・読書活動活性化のため、新たな図書館事業、図書館司書の待遇改善、とうべつ学園の図書館運営を研究。

# 令和3年度 当初予算の概要

## 各会計予算総額

# 210億8,934万円

(前年度との比較 29億7,821万円の増加)

### 一般会計

**歳入 150億7,009万円** (内は前年度との比較 (+29億2,166万円))

**歳出**

町税 町民税や固定資産税など	11.5%	17億3,257万円 (-1億9,355万円)
地方交付税 国から交付される依存財源	22.5%	33億9,204万円 (-1億1,423万円)
使用料及び手数料 施設使用料等の利用者負担分	0.9%	1億3,140万円 (+406万円)
国庫支出金 国からの補助金など	10.7%	16億2,008万円 (+3億9,014万円)
道支出金 道からの補助金など	4.0%	6億0,158万円 (+2,535万円)
寄附金 ふるさと納税寄付金など	20.8%	31億3,100万円 (+18億3,100万円)
繰入金 基金(町の貯金)からの補足分	11.1%	16億8,301万円 (+3億3,860万円)
繰越金 前年度予算の残額	0.3%	5,000万円 (0円)
町債 銀行等からの借入れ	11.6%	17億5,540万円 (+5億2,030万円)
その他 財産収入や補助金収入など	6.6%	9億7,301万円 (+1億1,999万円)

議会費 議会の運営費	0.6%	8,639万円 (-397万円)
総務費 庁舎管理、税務、企画事業	17.8%	26億8,757万円 (-1億6,230万円)
民生費 高齢者福祉や児童福祉事業	13.6%	20億4,798万円 (+1,951万円)
衛生費 ごみ処理や保健衛生事業	3.8%	5億7,432万円 (+5,020万円)
農林水産業費 農業振興や農地、山林の整備	3.3%	5億0,417万円 (-5,888万円)
商工労働費 商工振興、観光事業	0.4%	6,874万円 (+1,553万円)
土木費 道路や公園の整備・管理、除雪	21.0%	31億7,337万円 (+15億1,825万円)
消防費 消防活動、救急救命	3.2%	4億8,082万円 (-527万円)
教育費 学校の維持管理、社会教育事業	19.4%	29億1,814万円 (+15億7,732万円)
公債費 町債(町の借金)の返済	6.8%	10億2,201万円 (-2,175万円)
職員費 職員の人件費	10.0%	15億0,157万円 (-698万円)
その他 災害復旧費、予備費	0.1%	501万円 (0円)

### 当別町まち・ひと・しごと創成 総合戦略に基づく主な事業

#### JR札沼線新駅設置事業

令和2年度繰越予算	3億5,066万円
令和3年度予算	9億3,100万円
合計事業費	12億8,166万円

#### 一体型義務教育学校(とうべつ学園)建設事業

令和2年度繰越予算	17億8,546万円
令和3年度予算	23億6,847万円
合計事業費	41億5,393万円

#### 一体型義務教育学校木質バイオマスボイラ導入事業

令和3年度予算	1,585万円
---------	---------

#### 子育て世帯向け公共賃貸住宅整備事業

令和3年度予算	3,722万円
---------	---------

### 各会計予算

会計名	本年度予算	対前年比増減
一般会計	150億7,009万円	29億2,166万円
特別会計	国民健康保険	21億7,094万円 -4,317万円
	介護保険	16億4,815万円 4,240万円
	介護サービス事業	6,429万円 -349万円
	後期高齢者医療	2億7,212万円 1,560万円
	下水道事業	9億3,114万円 4,081万円
水道事業会計	9億3,261万円	440万円
合計	210億8,934万円	29億7,821万円